

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆



阿部 純一 あべこう一県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

来年度予算編成の基本方針

9月県議会の代表質問から



議長席から森田知事に答弁を求める阿部議長

○子どもと子育て世代へのサポート
体制づくり
や、県民一人ひとりの生涯を通じた福祉・医療の充実

危険ドラッグを条例規制

自民党代表 危険ドラッグについて、今後、県としてどう取り組んでいくのか。
森田知事 危険ドラッグ対策については、今後、販売店に対する立ち入り検査の回数を増やすとともに、高度な検査機器の導入により、検査期間の短縮を図り、違法製品の迅速な排除を促進します。また、危険ドラッグに関

する正しい知識の普及啓発をより一層推進するため、青少年が共感しやすい動画やラジオCMなどを活用し、効果的な広報啓発を行ってまいります。

さらに、危険ドラッグ対策をより積極的に推進するため、国に先駆けて薬物を規制することなど、実効性のある条例の年度内制定に向けて検討してまいります。

特に、本年はプールや海水浴場においても、このC

も、継続して実施することとしています。

防犯ボックスの検証結果

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見を聞かせてください

あべこう一県議事務所
TEL.043-287-8595
FAX 043-285-2192
〒263-0043
千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401
アベ純一 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>

「へらし満足度日本一」実現へ

さる6月定例議会で第68代県議会議長に就任した千葉市稲毛区選出の阿部純一(あべ・こういち)県議は、議長としての公式行事をしっかりと果たす一方、「県民の幸せが一番」との自らの政治信条に基づいて、市民目線からさまざまな県政改革の提言を行っています。

9月定例議会では、議長として議会運営を取り仕切るとともに、一層の「開かれた県議会」の実現を目指して議会活動を展開しています。この一環として、9月議会での自民党の代表質問のうち、来年度予算編成に関する森田知事の答弁など、主な質疑を特集しました。また、2面では議長就任を機とした千葉日報社のインタビュー記事とともに阿部県議からのメッセージを掲載しました。

自民党代表 平成27年度当初予算は、どのような考え方に基づいて編成しようとしているのか。

森田知事 来年度は「くらし満足度日本一」の千葉の実現に向けたこれまでの取り組みを、さらに発展させ、着実に成果を挙げていればならない年であると、そのように考えています。

このため、平成27年度当初予算では、
○成田空港やアクアライン、
圏央道など本県のポテンシャルや東京オリンピック・パラリンピックを生かした地域の活性化。
○防犯・防災 対策など、安全で安心して暮らせる社会づくり

――などに予算を重点的に配分したいと考えているところです。

また、来年度は、県税の増収が期待できるものの、

振り込め詐欺対策

自民党代表 振り込め詐欺対策を強化すべきと思うがどうか。

森田知事 振り込め詐欺の防止には、被害者である高齢者の方はもとより、家族の方々の役割よりも重要なことから、本年8月から実施している新たなCMでは、だましの手口を紹介するとともに、家族間の「確認行為」の重要性を呼びかけております。

また、警察では「だまされたふり作戦」等を通じて犯行グループの摘発に努めているところであります。このほか、用防犯ビデオカメラの整備も予定しています。このほか、コールセンターによる高齢者への直接呼びかけについても、継続して実施することとしています。

Mを流したほか、バスの車内放送や学校の校内放送を通じて被害防止に関する知事のメッセージを発信しています。

地元交付税のさらなる削減が議論されていることや、社会保障費等の義務的経費が大幅に増加することから、事務事業の見直しや県税の徴収対策の強化など行財政改革にもしつかりと取り組み、持続可能な財政構造の確立を目指します。

豊かさを実感できる県民生活実現!

阿部県議から
メッセージ

第2次安倍改造内閣が、9月3日に発足し、地方の活性化に向けて、新たに地方創生担当大臣が新設されました。景気回復の効果を、全国津々浦々まで着実に波及させていくとして、安倍

政権の意気込みが伺えます。また、来年度の国の概算要求でも、地方が行う道路や橋などの老朽化対策、雇用や子育て支援等に対する交付金の新規要求が提出されるなど、地方への配慮も伺えます。

しかし、一方で、今後の国予算編成の中で、社会保険費を厳しく精査すると、今まで地方自治に関わる政策や制度改革は、国の主導で進められてきました。

これからは、千葉県らしい自治を築くため、真の地方創生が待ったなしです。

密に、限られた財源を効率的に使うこと、地方の意向を国政へ伝え、国の施策・事業に反映させることなど、地方議会の果たすべき役割はますます重要なっています。

こうした中、将来の活力ある千葉県づくりに向けて、経済・雇用対策をはじめ、医療・福祉施策、環境対策、農林水産業の振興、交通網の整備、教育の充実、治安対策など、地域振興に向けて取り組むべき課題は山積しております。

このようない時に、県議会議長へのご推挙たまわり、大変光榮であるとともに、議会を代表する責任の大きさと重さを痛感し、身の引き締まる思いで過ごしております。

私は、真の豊かさを実感できる県民生活を実現するため、議会機能の一層の充実強化を図り、開かれた議会運営を目指し、そして何より619万県民の負託と信頼に応えるため、誠心誠意、その職務に当たつています。

引き続き、県議会議員ならびに県議会議長として、与えられた任期を全うすべく、全身全霊を傾けて職務に取り組んでまいります。

阿部 純一

今こそ真の地方創生のために更なる県民の幸せの為に

開かれた議会目指す



第68代県議会議長に就任した

阿部 純一氏

原点は「県民の幸せ」

「開かれた議会。それが私の僚らに呼び掛け。さらに「執行部」と議会が一方的に県民不在の信条。今も当然、それをを目指していっている」。依然として県民の関心から遠い県議会。道半ばを感じても低かじるだけに要職の使命の重さに、ならではの警鐘だ。

かり情報公開し、逐一、議会の状況をお知らせすることが大事」。県民の代表95人を束ねる議長就任の抱負は明快だ。

地元・千葉市稻毛区で飲食店の経営を両親から継ぐ傍ら、商店会長や自治会長を務めてきた。地域の諸問題に関する中で「行政の壁の厚さ」を痛感し、市議選に立候補したのが政治への入り口だった。

県議に転じてからは医療問題を取り組む一方、議会改革に力を入れてきた。議会運営委員長務めた2007年には、県議員が一度は登壇できるよう年間質問枠を76人から定数と同じ95人に拡大。傍聴に委員会は原則公開とし、会議録をホームページに掲載、情報公開も進めた。

身が引き締まる。

「県民がどういう政策を求めているのかを各議員が提示し、見据えた県経済の今後も大きな課題に位置づける。「通行料金の継続が決まった東京

800円の継続が決まった東京

湾アクアラインや圏央道の延伸

ことが重要」と自身を含め同

じでもあります。

私は、わが国の景気が緩やかな回復基調に向かっているものの、本県を取り巻く経済情勢は依然として厳しい状況にあることを認識しております。

人口減少はどう歯止めをかけるのか。地方が直面する課題は、国の行政が手がけるすべての施策に関わっており、方針や制度改革は、国の主導で進められてきました。

これまで千葉県らしい自治を築くため、真の地方創生が待ったなしです。

密に、限られた財源を効率的に使うこと、地方の意向を国政へ伝え、国の施策・事業に反映させることなど、地方議会の果たすべき役割はますます重要なっています。

こうした中、将来の活力ある千葉県づくりに向けて、経済・雇用対策をはじめ、医療・福祉施策、環境対策、農林水産業の振興、交通網の整備、教育の充実、治安対策など、地域振興に向けて取り組むべき課題は山積しております。

このようない時に、県議会議長へのご推挙たまわり、大変光榮であるとともに、議会を代表する責任の大きさと重さを痛感し、身の引き締まる思いで過ごしております。

私は、真の豊かさを実感できる県民生活を実現するため、議会機能の一層の充実強化を図り、開かれた議会運営を目指し、そして何より619万県民の負託と信頼に応えるため、誠心誠意、その職務に当たつてま

ります。

引き続き、県議会議員ならびに県議会議長として、与えられた任期を全うすべく、全身全霊を傾けて職務に取り組んでまいります。

阿部 純一

阿部 純一（あべ・こういち）氏

明治大商学部卒。千葉市議1期を経て、1995年の県議選で同市稲毛選舉区から初當選し連続5期。商工労働社会、健康福祉、文教、議会運営委員長など歴任。同区小仲台出身、在住。71歳。

千葉市小中台中学校区青少年育成委員会顧問

千葉市小中台小学校区社会体育振興会顧問

千葉市町内会自治会第6地区連協顧問

千葉市町内自治会第37地区連協顧問

千葉市社会福祉協議会小中台（東・西）地区部会顧問

千葉市稻毛地区商店街連合会会長

千葉市稻毛区サッカー協会会長

千葉市県道連盟顧問／千葉市稻毛区少年軟式野球連盟顧問

千葉市食品衛生協会顧問／千葉市自衛隊協力会顧問

千葉県電機商業組合顧問／千葉県建設業協会千葉支部顧問

千葉県クリーニング生活衛生同業組合顧問

千葉県解体工事業協同組合相談役

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会顧問

千葉県隊友会顧問／千葉西ロータリークラブバスト会長

保護司／いきいき大学相談役／千葉商工会議所議員

（千葉日報 平成26年9月14日の紙面より）

あべこういち県議プロフィール

○経歴○

昭和37年3月 市川学園高校卒業
昭和41年3月 明治大学商学部卒業
平成3年4月 千葉市議会議員に当選
平成7年4月 千葉県議会議員に当選、現在5期目
この間、商工労働社会、文教、議会運営各委員長、監査委員を務め、平成26年7月より第68代県議会議長を務める。

○党関係○

平成21年6月 自民党千葉県連幹事長代理。
その後政務調査会長、議員会長。現在自民党千葉県議会商工議員連盟、生活衛生議員連盟、介護問題対策議員連盟、看護問題対策議員連盟の各会長を務める。

○諸団体○ (平成26年10月現在)

千葉市小中台中学校区青少年育成委員会顧問
千葉市小中台小学校区社会体育振興会顧問
千葉市町内会自治会第6地区連協顧問
千葉市町内自治会第37地区連協顧問
千葉市社会福祉協議会小中台（東・西）地区部会顧問
千葉市稻毛地区商店街連合会会長
千葉市稻毛区サッカー協会会長
千葉市県道連盟顧問／千葉市稻毛区少年軟式野球連盟顧問
千葉市食品衛生協会顧問／千葉市自衛隊協力会顧問
千葉県電機商業組合顧問／千葉県建設業協会千葉支部顧問
千葉県クリーニング生活衛生同業組合顧問
千葉県解体工事業協同組合相談役
千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会顧問
千葉県隊友会顧問／千葉西ロータリークラブバスト会長
保護司／いきいき大学相談役／千葉商工会議所議員



県幹部職員と政策協議する阿部県議